

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第4区分

【発行日】平成17年9月8日(2005.9.8)

【公開番号】特開2003-208719(P2003-208719A)

【公開日】平成15年7月25日(2003.7.25)

【出願番号】特願2002-119740(P2002-119740)

【国際特許分類第7版】

G 1 1 B 7/007

G 1 1 B 7/24

G 1 1 B 7/26

G 1 1 B 11/105

【F I】

G 1 1 B 7/007

G 1 1 B 7/24 5 6 1 Q

G 1 1 B 7/24 5 6 3 A

G 1 1 B 7/24 5 6 3 C

G 1 1 B 7/24 5 6 5 A

G 1 1 B 7/26 5 1 1

G 1 1 B 11/105 5 2 1 F

G 1 1 B 11/105 5 2 1 H

G 1 1 B 11/105 5 4 6 D

【手続補正書】

【提出日】平成17年3月18日(2005.3.18)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0090

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0090】

そして、光学記録再生媒体10からの反射光は、光ピックアップ66、1/4波長板65を再び経由して円偏光はS偏光になり偏光ビームスプリッタ64に反射され、組み合わせレンズ71に入射させる。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0092

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0093

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0093】

ディテクタ73のA～Hにより出力される信号A～Hが、図示しないが所定の回路系において、以下のように加算減算処理されて所定の信号が出力される。この例においては、所定の間隔に配置して照射した上記3本のレーザ光を利用した差動プッシュプル(DPP:Differential Push-Pull)方式によりトラッキングサーボ信号を得た。即ち、

光学記録再生媒体の再生信号 = (A + B + C + D)

ピット再生信号(例えばE FM信号) = (A + B + C + D)

プッシュプル信号 = (B + C) - (A + D)

差動プッシュプル(トランкиングサーボ)信号

= (B + C) - (A + D) - k ((E - F) + (G - H))
(k は所定の定数)

とする。このような構成による光学記録再生装置により、以下の実施例において、上述の本発明構成による光学記録再生媒体の評価を行った。